

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		消防施設整備事業		課名	危機管理室	事業No.	258
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			第11次消防力（消防団）整備計画			
法令・例規等			消防法				
			動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令				
事業目的		対象	市民の生命と財産及び消防団員				
		意図	地域防災力向上につなげるため、よりよい機関機材の更新整備及び耐震貯水槽の適正配置				

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
	・第11次消防力（消防団）整備計画に基づき、車両更新整備（消防自動車：山本、小型動力ポンプ付多機能型積載車：八幡）を行いました。 ・消防団における人材育成として、応急手当普及員の資格取得や同資格再講習の受講などを積極的に推進し、継続的な消防体制強化を図りました。		消防自動車更新（1台）				17,985					
			小型動力ポンプ付多機能型積載車（1台）				14,498					
			AED				220					
			消火栓表示業務委託料				286					
			防火水槽撤去工事費				1,551					
			詰所修繕料				1,114					
			その他の経費				655					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	車両更新		台	4	6	5	5	4	4	2	2	
	防火水槽		基			1	1	3	2			
2年度決算(千円)	予算額		50,505	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		36,309	(国) 消防団施設整備費補助金（1/3）								
	財源の状況	国庫支出金		73	(地) 緊急防災・減災（充当率100%）							
		県支出金		0								
		地方債		31,100								
		その他		0								
一般財源		5,136										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	9	1	3	11	2	46,540	32,703	消防体制強化整備事業費（単独）	
2	1	9	1	3	11	3	1,600	1,305	消防団詰所整備事業費	
3	1	9	1	3	11	5	2,365	2,301	消防用施設整備事業費	
4										
5										
6										
7										
振返り課題認識		地域防災力の要である消防団には、豪雨や地震などの自然災害発生時の対応が、これまで以上に求められています。この要請に確実に応えてくためには、団員の安全確保や知識及び技術の向上が必要不可欠となっています。								
上記の課題解決のための有効策		安全装備品等の充実に加え、救助資機材の取扱い訓練・広域消防との連携訓練や資格取得など、団員のスキルアップを図っていきます。								
次年度に向けての取り組み		人材育成として、応急手当普及員の資格取得や同資格再講習の受講などを積極的に推進し、継続的な消防体制強化を図ります。普通免許で運転可能な車両の研究（車両の軽量化）や準中型自動車免許取得費用に対する公費助成制度の創設に向けた調査、研究を進めていきます。								